

# 令和4年第2回定例会(6月議会)の概要



中津市議会議員 大塚正俊



令和4年第2回定例市議会(6月議会)は、6月6日から30日の25日間開催されました。令和4年度一般会計補正予算、条例議案9件、報告24件、人事案件3件、その他議案1件、請願1件、決議2件、意見書4件の計45件が上程され、決議1件を除く議案を原案どおり可決しました。

# 令和4年6月定例議会で決まったこと。【抜粋】

## 1. 令和4年度一般会計補正予算(第2号)

補正額8億560万円(補正後予算額439億2657万円)

### □学校給食提供支援補助金；1833万円

- ・コロナ禍における物価高騰を受け、学校給食会計の運営に影響が生じているため、値上げを回避するため物価高騰によるパン・牛乳・副食に係る影響額を支援し、質と量ともに安定した学校給食の提供を確保する。

令和元年度と比較した物価高騰による影響額

「パン」・・・2,602千円

「牛乳」・・・5,994千円

「副食」・・・9,734千円

合計 18,330千円



中学生の学校給食の一例

## □ひとり親世帯生活支援特別給付金給付事業；1103万円

- ・令和4年6月より国の「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」」のひとつとして「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」の支給が開始されます。
- ・中津市では、国の給付金の対象基準日以降にひとり親世帯となった方（令和4年5月分以降の児童扶養手当受給者等）について、生活を支援するための給付金を支給します。

- ◆対象者；新たに令和4年5月分から令和5年3月分までの児童扶養手当等の受給者となった世帯
- ◆対象児童数；220人（110世帯）
- ◆支給額；児童一人あたり一律5万円
- ◆スケジュール；令和4年7月以降、児童扶養手当等の認定者へ随時支給



## □幼児教育・保育施設等物価高騰緊急支援事業；1346万円

- ・コロナ禍の物価高騰により、子どもの発達に必要な栄養バランスの取れた給食提供への影響を懸念することから、保護者の負担を増やさず、引き続き子どもの成長に必要な食を提供するため、給食を提供する施設を支援します。（7月から3月の9ヶ月分）

### ○保育所等 (36ヶ所)

500円 × 2,818人 × 9ヶ月 = 12,681千円

### ○児童発達支援等事業所 (15ヶ所)

50円 × 20回/月 × 80人 × 9ヶ月 = 720千円

### ○病児・病後児保育施設 (2ヶ所)

50円 × 116人 × 9ヶ月 = 53千円



写真はイメージです。

## □地域振興施設（道の駅なかつ）事業；931万円

- ・原油価格高騰、脱炭素社会の構築への取り組みから電気自動車の普及が見込まれるため、電気自動車用のEV高速充電器を道の駅なかつに3台整備する。（1台更新、2台増設）



道の駅耶馬トピアの充電設備

## □水産物流通改善支援補助金；1400万円

- コロナ禍や原油価格高騰の影響を受けている水産業関連事業者に対して燃料費を支援する。
- 漁協組合員に対する燃料購入費の50%を補助
- 期間：令和4年4月～令和5年3月



小祝漁港

## □プレミアム商品券発行事業；5億8880万円

- ・新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰等の影響を受けている市内事業者を支援するとともに、地域経済の再活性化を図ることを目的として、今年5月発行分の中津市プレミアム商品券の使用期間終了に合わせて、新たに中津市プレミアム商品券を発行し、事業者に対する切れ目ない長期的な支援を行います。

中津市 **第4弾**  
**プレミアム商品券**  
**販売決定!!**

プレミアム率 **30%** **13,000円分**を  
(500円券26枚綴り)  
**10,000円**で販売

使用期間/令和4年9月1日(木)から令和4年12月31日(土)まで  
購入対象者/大分県民 購入限度額/一人あたり5冊 50,000円まで

申込期間 **令和4年7月15日(金) ~**  
**令和4年8月 5日(金) 必着**

### 【プレミアム商品券第4弾】

- ・利用期間；令和4年9月～12月
- ・発行総額；15億6000万円
- ・プレミアム率：30%
- ・購入対象者；大分県民
- ・購入限度額；一人5冊 50,000円まで

### 【プレミアム商品券第5弾】

- ・利用期間；令和5年1月～令和5年3月
- ・発行総額；7億8,000万円
- ・プレミアム率：30%
- ・購入対象者；中津市民
- ・購入限度額；一人5冊 50,000円まで



第3弾のプレミアム商品券  
※利用期限は7月31日までです。 ●8

## □ 予防事業（新型コロナウイルス対策関連）；8856万円

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種に係る増額補正。

### 【4回目接種】

対象者：60歳以上の市民（約28,000人）

18歳から59歳までの基礎疾患等がある市民（約1,500人）

### 【3回目接種】

対象者：12歳から17歳までの市民（約3,500人）

#### 1. 4回目接種の接種券発送時期及び接種開始時期について

中津市では、3回目接種を終えた60歳以上の方及び、18歳～59歳の方で基礎疾患を有する方を対象とした4回目の新型コロナワクチンの接種について、令和4年6月1日（水）から予約受付を開始しました。3回目の接種から5ヶ月を経過する上記対象者に対し、該当月の前月に接種券を随時発送します。

#### ①3回目接種を終えた60歳以上の方について

対象者	接種券発送時期	接種開始時期 (予定)	対象者数
R3年12月に3回目の接種を終えた方	R4年5月27日	R4年6月～	約3,000人
R4年1月に //			
R4年2月に //	R4年6月下旬	R4年7月～	約14,500人
R4年3月に //	R4年7月下旬	R4年8月～	約8,800人
R4年4月に //	R4年8月下旬	R4年9月～	約1,200人

※その後も随時発送します。

## □脱炭素戦略策定事業；2000万円

- ・2050年脱炭素社会実現に向けた中津市版ロードマップを作成するとともに、公共施設における再生可能エネルギー設備の導入の可能性について調査する。

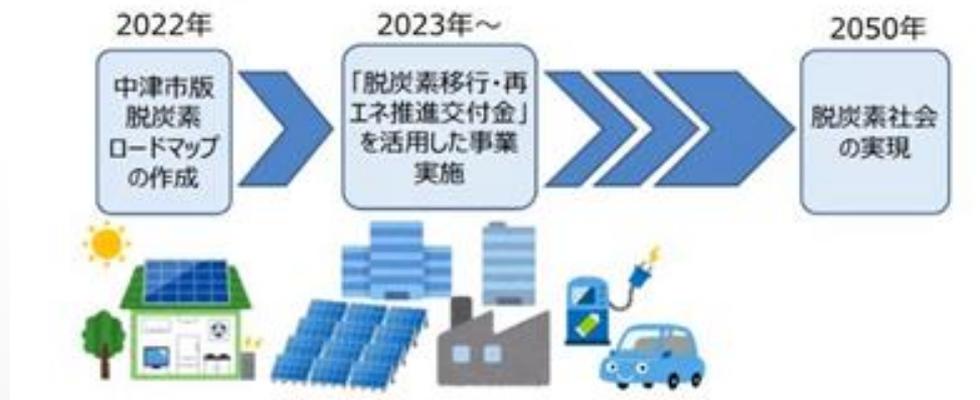
### ①2050年脱炭素社会実現に向けた中津市版ロードマップ構築委託事業費：10,000千円

- ・事業内容:市内の温室効果ガス排出量やエネルギー使用量の動向を調査した上で、2050年温室効果ガス実質排出ゼロに向けた目標及び施策の検討を行います。

### ②公共施設等への再エネ設備の導入可能性調査委託事業費：10,000千円

- ・事業内容:公共施設や市有地への再エネ設備の導入可能性を整理し、費用対効果や持続可能性を考慮した今後の再エネ設備導入の検討を行い、その方向性を示します。

<今後の事業展開イメージ>



## □大分県DC（デスティネーションキャンペーン）事業 ；156万円

- ・デスティネーションキャンペーン（DC）とは、地元自治体、観光関係団体・事業者等とJRグループが協力して実施する国内最大規模の観光キャンペーン
- ・令和6年春に開催が決まった福岡・大分DCに係る令和4年度負担金。



7年前のDCポスター

## □青の洞門周辺整備事業；900万円

- ・ 耶馬溪観光の入口として、青の洞門周辺に駐車場等を整備し、観光振興を図る。令和4年度は用地測量を実施。
- ・ 事業年度：令和4年度～7年度
- ・ 総事業費：1億8000万円（予定額）

### 【事業費の内訳】

- ・ 測量費 900万円
- ・ 用地取得費約7000万円
- ・ 倉庫の移転補償費約 1000万円
- ・ 駐車場の設計委託料約 700万円
- ・ 駐車場の整備工事費約4800万円
- ・ 禅海橋のスロープ工事費約 2300万円
- ・ 視点場のカラー舗装費約1500万円

※この事業に対して多くの意見が出され、総務企画消防委員会として次ページの付帯決議を採択しました。



## 議第38号 『令和4年度中津市一般会計補正予算（第2号）』 に対する附帯決議（総務企画消防委員会）

新型コロナウイルス感染拡大にあつて、観光業の落ち込みが著しい日々が続いていたが、このところの収束傾向や、国のコロナ対策の緩和もあり、観光客の客足も回復しつつある。

こうした中、今議会に『令和4年度一般会計補正予算(第2号)』の第7款 商工費、第1項 商工費、第5目 観光費、013 観光施設整備事業費、13節 委託料(測量及び設計委託料)900万円が計上されている。この予算は、青の洞門観光客用の駐車場としてレストハウス洞門跡地の約11,000㎡のうち約7,300㎡の用地買収のための測量設計費を計上したものである。

委員会審査の中で、委員から駐車場整備だけではなく、滞在型観光を見据えた施設整備も併せて検討すべきではないかなど、多くの意見が出された。

以上のことから、本予算については、下記の点を十分考慮することを強く求める。

### 記

1. 買収用地については、観光振興に繋がる範囲での買収を再度検討すること。
2. 名勝耶馬溪や国定公園の区域であると思われるので国や県と調整のうえ駐車場整備だけではなく、滞在観光を見据えた、例えばグランピング場や地域経済に波及効果のあるような施設整備も併せて可能な限り検討すること。
3. これらの整備においては、民間事業者との連携も含め検討すること。

## 2. 条例の制定、一部改正

### □中津市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

- ・公職選挙法施行令の一部改正に伴い、市議会議員及び市長の選挙における選挙運動用自動車の使用、ビラ及びポスターの作成に要する経費の公費負担の限度額を引き上げる

### □中津市立中津市民病院及び小児救急センター使用料及び手数料条例の一部改正

- ・選定療養に関する費用の基準を定める厚生労働省告示の一部改正に伴い、選定療養費（紹介状なしに市民病院を受診した場合に負担していただく費用）を初診の場合「5,500円」から「7,700円」に改定。
- ・ただし、休日、夜間等の時間外診療を緊急受診した方等を除く。

### 3. 工事請負契約の締結

#### □三光総合運動公園多目的広場災害復旧工事

- 契約の金額；176,569,503円
- 工事の概要；園路広場整備工、グラウンド・コート舗装工等
- 契約の相手方；東亜道路工業・佐々木工業特定建設工事共同企業体



三光陸上競技場の浮上ったラバー

## 4. 請 願

### □飼料、燃油、資材高騰における畜産経営持続化への支援に係る請願

- ・ 請願者；中津市酪農組合、耶馬溪酪農組合、下郷農業協同組合

#### 【請願趣旨】

畜産農家経営存続のために、中津市として下記の支援策を講じて頂きたい、市内畜産関係者連署を持ってごお願いいたします。

1. 飼料高騰に対する支援策の実施
2. 燃油、資材高騰に対する支援策の実施
3. 価格低迷に対する支援策の実施



耶馬溪町の宮下牧場

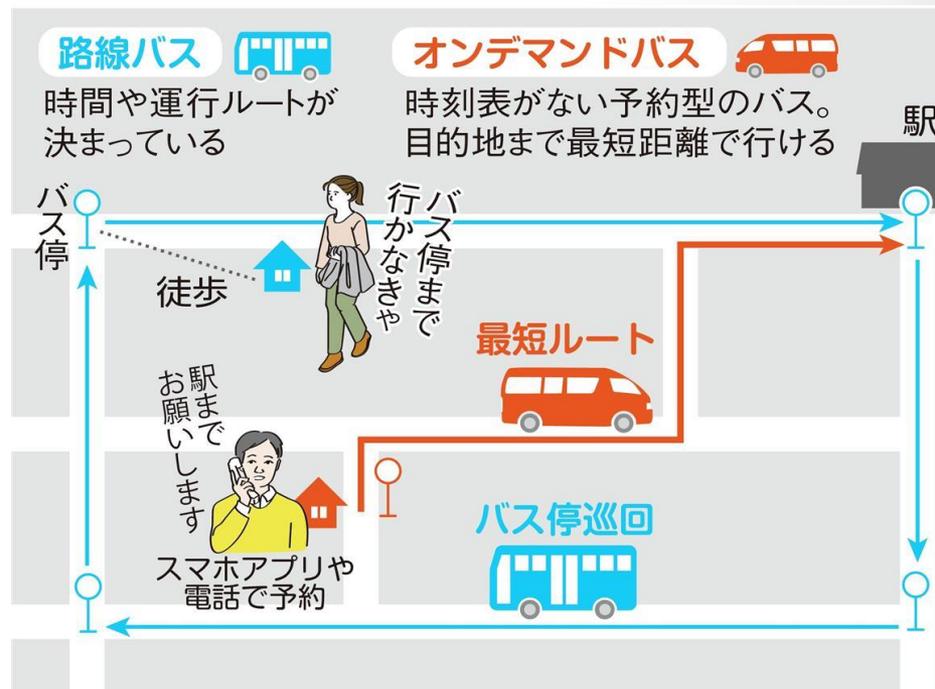
## 8. 決議

### □地域における移動手段の確保を求める決議【可決】

高齢者や障がいを抱えた人、要介護高齢者、妊産婦、子育て世代など様々な理由で公共交通機関が使えない、使いにくさを感じている人、まちを歩くのに困難・不便を感じている人がいる。

そのような方の外出目的の多くが、買い物と病院通いであるが、引きこもりがちな高齢者の介護予防といった観点からも移動手段の確保は重要である。

よって、関係する全ての主体が、専門領域を超えた総合的な観点で議論を行い、高齢者や障がい者などの地域における移動手段の早急な確保に向けた抜本的な対策を講じることを強く求める。



## 5. 決議

□家庭ごみ袋有料化とごみの持込み料の値上げを9月1日から実施することの延期を求める緊急決議 **【否決】**

### 【執行部から有料化の実施に向けての追加提案】

- ・ごみ袋有料化制度開始の啓発と「指定ごみ袋」のサイズや使用感などを確認してもらうことを目的に、「指定ごみ袋」の無料配布を行う。
- ・配布枚数：燃やすごみ用「指定ごみ袋」を1袋（10枚入り）
- ・実施時期：7月末までに『引換券』を配布予定（8/1以降取扱店で引換可能）



## 6. 意見書

### ①教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書

- ・ 中学校、高等学校での35人学級を早急に実施すること。
- ・ 義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。
- ・ 少人数学級を推進するとともに、複式学級の編成基準の見直しや「2複」の解消など、複式学級の解消に向けて尽力すること。

### ②地方財政の充実・強化に関する意見書

- ・ 2023年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、コロナ禍への対応も勘案しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすよう求める。

### ③2022年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書

### ④国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書

海の日はいつ？

海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を祝う願う祝日  
(毎年7月第3月曜日)

次は、**2022年7月18日**

# 10. 自由討議

## (1) コロナ禍での祭礼の継承について

(補足説明者：林 秀明 議員)

- ①あなたが守りたい祭りの未来像とは
- ②地域の歴史・伝統文化を継承するために
- ③祭りは、子どもからお年寄りまでもっとも身近な交流の場
- ④企業の積極的な支援を結びつけるために必要なこととは
- ⑤祭りこそ地方創生の原点

### 【私の主張】

ウイズコロナ中で、3年ぶりの祭り等が再開されつつあります。

自治会や地域の祭りも3年以上ブランクが生じると継承が難しくなってきます。

実際に私の周りでも、自治会の役員さん方から、めんどくささから祭りを中止してもよいのではとの声をお聞きします。

地域から祭りや行事がなくなってしまうと地域コミュニティの維持が難しくなってしまいます。

今年は、そういった意味で、主催者の方には勇気と元気をもって、感染対策を講じた上で、祭り等を実施する方向で、検討していただきたいと願っています。

## (2) 移動支援の仕組みの構築を

(補足説明者：木ノ下 素信 議員)

- ①既存のバス、タクシーを見直す
- ②市主体の「自家用有償旅客運送」を実施
- ③NPO等による「自家用有償旅客運送」を支援
- ④住民による助け合いでの「移動サービス」を支援
- ⑤民間企業による「乗り合い送迎サービス」を支援
- ⑥その他の移動手段

### 【私の主張】

現在、運行している民間路線を検証すると、廃線となったルート以外にコミュニティバス等を走らせることは難しい実態にあります。民間バス路線と競合するコミュニティバスやデマンドバスを走らせるには、公共交通会議での承認が必要だからです。

そこで、提案したいのは、交通弱者といわれる方のタクシー利用に対する補助金制度の拡充です。

現在、70歳以上の高齢者の免許返納者(バス・タクシー乗車券、1回限り1万円)や市民税非課税世帯の高齢者や障がい者に対する安心お出かけタクシー事業(年間12,000円)が実施されていますが、要介護度や障害者の要件の廃止等により交通弱者の方を広く救済できる制度に見直しができないものかと考えます。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

## “3年ぶりに中津祇園が開催される”

今年は、感染対策を施し規模を縮小して中津祇園が3年ぶりに開催されます。

地域コミュニティーの維持やまちの活性化のためには、お祭り等の行事は欠かせません。

今後は、いろいろと試行錯誤しながらの「ウイズコロナ」のイベント開催となることと思いますが、万全な感染予防対策を講じた上で、お祭り等がだんだんと再開されていくことを期待しています。



中津祇園(諸町)2019.7

**編集後記 (ひとりごと)** 6月7日、4人目の孫が誕生しました。コロナ感染防止対策のため病院での面会ができず、退院して初めて抱っこしました。生まれてきた孫の顔を見るたびに、「夢と希望をもてる社会を残してやりたい」と決意を新たにするジイジです。(まさとし)